



2021年1月号183号 しゃきょう 社協だより

●発行 社会福祉法人三宅島社会福祉協議会 〒100-1211 三宅島三宅村坪田 3053 電話 04994-8-5888



新年のご挨拶を申し上げます

三宅島社会福祉協議会 会長 寺本恒夫

皆さま、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス感染症の問題で、三宅島社協の行事である、「福祉まつり」「福祉バザー」などを取りやめざるを得なかったことは、本当に残念でしたし、皆さまにご迷惑をおかけいたしました。特に高齢者の皆さまを対象に毎月行っていた会食会もコロナ感染症対策上開くことができず、会食会に月一回お集まりいただいて、会食しながらの談笑や、ゲーム、またおおきな声で合唱などができず、日ごろ鬱積していた胸の内を発散する機会をなくしたことでしよう。このことは、コロナ感染症を防ぐために外出も自粛などでこの上なく味気ないストレスのたまる生活を強いたのではないかと思います。

このようなコロナ禍で社協としての訪問介護や、生活相談などは、コロナ感染症対策をしっかりとりながら通常通り進めてまいりました。介護職員の皆さまも相当気を遣われたのではないかと感謝しています。一方「いぶき」の活動や通院送迎などで一時的に自粛をせざるを得なかったようなことはありましたが、その後対策をしっかりとりながら進めてまいりました。

今年は何といっても新型コロナウイルスの拡大を終息させることが世界的な大きな課題です。

社会福祉協議会としては、それまでは万全の体制をとりながら事業を進めてまいります。現在医療現場や介護職員の問題が大きく取り上げられています。このことは三宅島社協の訪問介護でも問題としていきたいと思っております。特に在宅介護者の家族が感染し入院した場合、当然介護を受けている本人も濃厚接触者となりPCR検査の対象になります。検査の結果が出るまで一定の時間がかかるわけですが、その場合家族の中で介護ができる方がいない場合はどうするのか、また、接触した介護職員はどうするのか、など訪問介護の問題では大きな課題として出てきます。万全な体制と言っても介護職員は医療の専門職ではないので心配です。これらについては行政や関係機関と連携をとって利用者の方に不利にならないように考えていきます。

これから寒くなります、どうか皆さま万全の感染症対策を行ってください。新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行う事で、ほかのウイルスも流行しにくくなると言われています。それに加えて、国などの公的機関の責任で必要な部所で働かされている方々のPCR検査がスムーズに受けられる体制をとって、早期発見と共に水際対策をしっかりとってもらうことが必要ではないでしょうか。

一日も早く、ワクチンが完成し、安全性が確認され国民に広く接種できる日が来ることと、一日も早く新型コロナウイルス感染症を克服し、普段の生活に戻れる日を強く願うものです。

今年も役職員、心をひとつに村民の皆さまのために全力で働きますのでよろしくお願いいたします。

また、コロナ禍による生活困窮者への支援制度の活用の問題ですが「個人向けの生活福祉資金の特例貸付け」は社協が窓口です。気軽にご相談ください。



1月17日は「防災とボランティアの日」です！



1月17日は防災・ボランティアの日です。25年前のこの日、阪神淡路大震災が起きた時に日本のいたるところからボランティアが来てくれました。ボランティア元年と呼ばれ、その後教育の場や企業でもボランティアに力を入れるようになりました。それでは「防災」と「ボランティア」が結びついているのはなぜでしょう。災害が起きた時、ボランティアはとても重要な役割を担います。三宅島も2000年の噴火では、帰島も含め多くのボランティアが来てくれました。あえて「防災」としたことには、日本の地理とも大きな関係があります。世界で起きる地震(M6以上)の20%が日本を震源としています。(国土面積は0.3%に満たない)活火山も世界の7%が日本です。狭い国土に火山島なので山間部が多い。これらは常に災害(地震・噴火・洪水・津波)と隣り合わせと言えます。だからこそ防災を日ごろから心掛けておかねばなりません。一番簡単な心掛けは何でしょう。それは人とのつながりです。自然災害に1人で立ち向かうことはできません。何かが起きた時はお互いに協力し助け合うことで被害を抑えることができます。例えばそれはちょっとの一声、「一緒に避難所に行きましょう」でもよいでしょう。その一声がすぐに言える関係性が「つながり」です。私が三宅島の社協で働いたとき、「島にはボランティアという言葉は必要ない」といった人がいます。理由は「島では当たり前だから」だそうです。三宅島では困った人がいたら助けるのは当たり前、隣近所で支えてきたからです。買い物に行くとき、「じゃあ送ってやるよ」と。私も島を歩いているときに「そこまで送っていくよ」と声をかけてもらったことが何回かあります。そんな経験があると私も道で見かけた人に「送らしましょうか」と声をかけ、乗せたこともあります。三宅島にはそんなちょっとの一声が今でもあります。互いを思いやり、声を掛ける。これはボランティアにも防災にも大切です。防災・ボランティアの日にもう一度みんなで考えてみましょう。そして日ごろから一声かける島であることを私は誇りに思います。

事務局長 斎藤 央

障がい福祉

いぶきだより



開所日時:月・水・木(10:00~15:00)

三宅村地域活動支援センター「いぶき」は障がいのある方の働く作業場と楽しく過ごせる場所です!

1月のいぶき活動

緑花活動 6・13・20・27日(全水曜日)

外出支援 14日(木曜日) 消毒作業 水・木曜日



あけましておめでとうございます!いぶきでは創作活動としてわらじやぞうきん、さをり織、刺し子、ゆび編みマットなどに取り組んでいます。皆さんとても熱心に取り組まれたたくさん商品が出来上がりました。12月は運動習慣を身につけることを目的として散歩へ積極的に出かけました。みなさんそれぞれのペースで楽しく歩くことができました。

ちけん通信

Vol.2 | 「ちけん」の相談員ってどんな人?

Q.

ちけんの相談員って
どういう人がやっているんですか?

そうだ!

社協の地権に

相談して

みよう!

あけましておめでとうございます!地権担当のヤナガワです。今年もよろしくお願いいたします。質問ありがとうございます。ちけんでは様々な分野の福祉制度を活用する性質上、社会福祉士や精神保健福祉士、ケアマネジャーなど福祉の資格を持った職員が対応に当たらせていただいています。三宅島社協のちけんでも専門資格を持った担当職員や福祉関連業務経験のある支援員が対応しています!ささいな心配ごとの相談が大きな困りごとの解決につながります!まずはお気軽にご相談ください!



「地権(ちけん)」では、判断能力に心配がある方を対象として、福祉サービスの利用に関する相談に応じ、助言や情報提供を行う事で本人による選択や契約を支援する事業です。

上記のような心配ごとや不安ごとがございましたら三宅島社協地権担当:柳川(やながわ)【直通8-5883】まで!



こうえん ようす
講演の様子

昨年12月、三宅小学校の4年生のみなさんと一緒に「福祉」について考えさせていただきました。第1部では「福祉ってどんな事かな？」「幸せってどんな事だろう？」ということをテーマに斉藤局長に講演をしていただきました。みなさんが真剣にお話を聞いていた姿が印象的でした！局長の講演をみなさんと一緒に聞いていて私たちも「福祉」をもう1度考える機会を頂けたと思います。第2部では「高齢者疑似体験」を行いました。あつというまに高齢者に大変身！ふたり1組になって、疑似体験セットを身に着け、ひとりはお介助をして、校内散策をしたり、現在、社協で活躍している現役の介護士の介護を受ける体験、

車椅子に乗り、車椅子で介助をする体験、疑似体験しながら読み書きをする体験を行わせてもらいました。目もあまり見えない、音も聞こえない、指も自由に動かさない、半身も固定され自由に動かない、そんな体験をして私たちや先生方がなにも言わなくても、すぐに疑似体験セットを身に着けている児童さんの手を取り、介助してあげていました。「大きな声で話してみる」「使える手を取って案内してあげる」相手が必要だと思う事を、すぐに行動できること、本当に素晴らしい！と思いました。中でも1番印象に残っているのは、「大丈夫？少し休む？」



ぎじたいけん
疑似体験セットでパシヤリ！

と声をかけていたことです。いつでも、どんな時も、どんな相手でも、大切なのは「思いやるキモチ」なんだと見ていて感じました。そして、とっても感動しました。こんな「優しい世界」…みんながいれば、できる気がするよ。社協では、子どもたちと何かできる事はないのか、いつも考えています。今年度はコロナウィルスの影響もあり「今年度は何もできない…」と諦めていました。しかし、三宅小学校の先生方のご厚意とご協力に



かいごし かいごたいけん
介護士による介護体験

より、授業に参加させていただける機会を頂けたこと、大変感謝しております。初めての試みという事もあり、こちらの不手際でご迷惑をおかけしましたが、これからもこのような機会を頂けたら嬉しいです。三宅小学校の校長先生、副校長先生、担任の東山先生、ご協力頂いた先生方、そして、「福祉」を一緒に考えてくれた三宅小学校の4年生のみなさん、素敵な時間を本当にありがとうございました。4年生のみなさん、社協にも遊びに来てください。何か困ったことがあってもなくても、遊びに来てください。顔だけ見せに来てください。私たちはとっても嬉しいです！社協職員、みんなで待っていますね！



くるまいすたいけん
車椅子体験